

ちやおちゃおの視察も兼ね、様々な取り組みについて意見交換しました

一部をご紹介します。

(活動について)

- 「ちやおちゃお」は、誰もが安心して子育てできる街づくりを目指して活動している NPO 法人です。
- 赤ちゃんからの子育て支援をはじめて、今年で創立 20 年。赤ちゃん広場(食事提供)、絵本の読み聞かせ、お餅つきなどの体験活動を行っています。不安や心配が尽きないお母さんに、「大丈夫よ、うちの子もこんな感じだったよ」と声を掛けるなど、お母さんの安心につながるような支援活動を続けています。

(運営について)

- 活動は地域の支援という面だけでなく、高齢者のスタッフの生きがいにもなっています。先ほど市長から「地域リハビリテーション」の考えを聞かせてもらいましたが、まさにその考えに合致していると感じました。
- 活動を続けるために補助金を申請したり、Amazon で物品の寄付を募ったり、学校や図書館にちらしを配布するなど、運営の継続に努めています。

【市長】

- 運営の厳しさについて、同様の課題を持たれている団体は多いと思います。補助金は頼りすぎると、助成元のさじ加減一つで運営が立ち行かなくなる。そんな危険性を、私も職員時代に強く感じていました。

(スタッフについて)

- スタッフが高齢化していることから、以前のような活動が続けるには負担が大きくなってきています。初めは参加者だった方々がスタッフになってくれることもありますが、活動はすべてボランティアであることから、仕事に就くなどにより、次第に若い力が少なくなってしまう。「次世代への引継ぎ」が課題と考えています。

【市長】

- 次世代といっても、若い世代もありますが、例えば退職して、旅行もして一段落した人、67,8歳くらいの人に参加してもらうことも解決策の一つかもしれません。
- 大東市ではシニア世代を対象に、地域での活動を応援する「地域デビュー応援 in 大東」を実施しています。生きがいや交流を持てる居場所を見つけられる機会を提供するイベントです。そこで、この素敵な取り組みを紹介し、スタッフの参加を呼び掛けてみるのもいいかもしれません。